


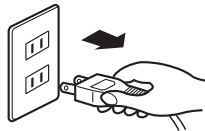


## 10 消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

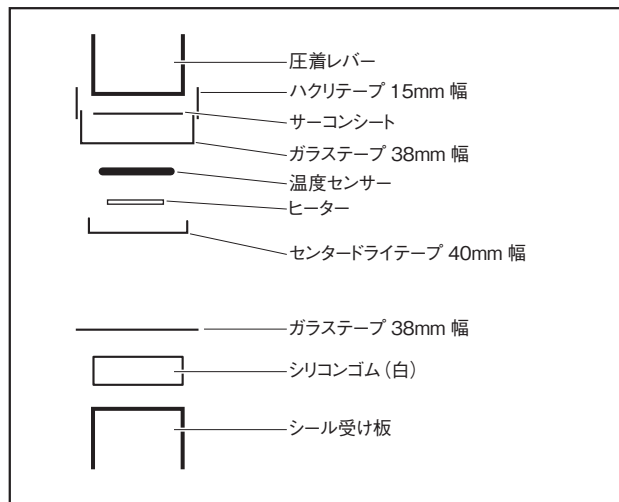
-  **警告** 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。
-  **警告** 取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。
-  **警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

### シール部の構造

シール部は下イラストの部品から構成されていますので、部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。



## 10-1 部品交換のための準備

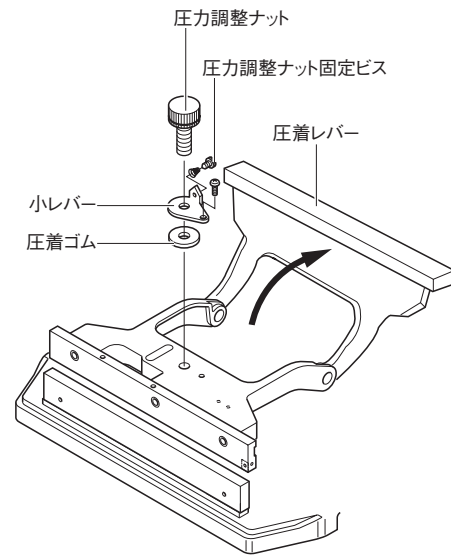
### ● 各部品の交換の前に・・・

部品交換の際、圧着レバー、コントロールユニット取付台を奥側に倒した状態にしますと作業が行ないやすくなります。

- 1 本体カバーを止めているビス（「分解図・部品表」（→ P.47）番号：③4 SUS バインドビス M5 × 10）を緩めます。
- 2 圧力調整ナット固定ビスを緩め（ビスを外してしまわないでください）圧力調整ナットを反時計回りにカチッと音がするまで回すと圧力調整ナット、小レバー、圧着ゴムが外せるようになります。
- 3 ユリヤネジを外しコントロールユニット取付台・圧着レバーを奥側へ倒します。  
「10-8 コントロールユニットの交換」（→ P.30）を参照してください。

圧力調整ナットを取り付ける時は、「11-1 シール圧力の調整方法」（→ P.32）の **注!** を参照してください。

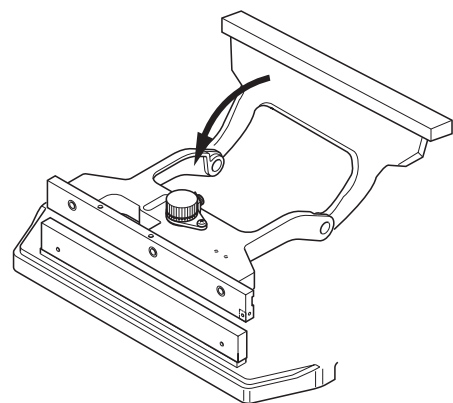
**警告** 圧着レバーを上へ上げると、マイクロスイッチのレバーを押してマイクロスイッチを ON 状態にすることができますが、絶対にしないでください。電源プラグがコンセントから抜いていないとヒーターが加熱して火傷などをする危険性があります。「10-9 マイクロスイッチの交換」（→ P.31）の **警告** を参照してください。



## 10-2 部品交換終了後に・・・

### ● 部品の交換が終了したら、

- 1 圧着レバーを元の位置に戻します。
- 2 圧着レバーを上から押しながらシール圧力調整ナットを右に動かなくなるまで回してください。その後、「11-1 シール圧力の調整方法」（→ P.32）を参照して、シール圧力の調整を行ってください。調整後、固定ビスで必ず圧力調整ナットを固定してください。
- 3 コントロールユニット取付台を元の位置に戻してください。
- 4 本体カバーは、ユリヤネジと本体の間に差し込みユリヤネジで固定してください。



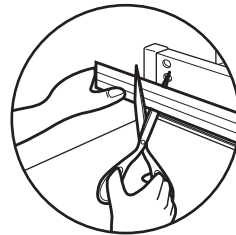
### 10-3 センタードライテープの交換

【必要物】 はさみ、プラスドライバー

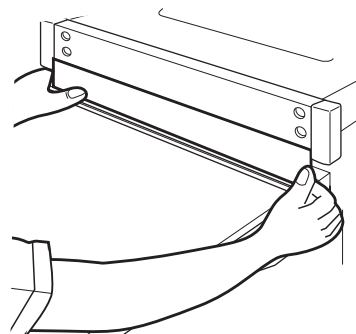
【交換の目安】 センタードライテープが破れた、焦げた、シールが汚い等

センタードライテープは単品販売しています。

- 1 端の方からセンタードライテープを取り除いてください。
- 2 新しいセンタードライテープを圧着レバーの長さと同じぐらいに、はさみで切ってください。

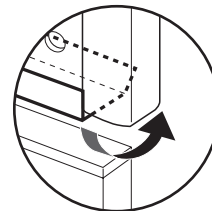


- 3 新しいセンタードライテープを圧着レバーの端から順に貼ってください。



圧着レバーからはみ出たセンタードライテープの両サイドを圧着レバーの側面に折り曲げハクリテープで貼り付けてください。

このときヒーターに、粘着のりがないテープ中央部分が重なるように貼ってください。



**⚠ 注意** 交換の際は温度センサーを傷けないように注意して作業を行ってください。

## 10-4 温度センサーの交換

【必要物】 プラスドライバー

【交換の目安】 温度センサーの破損  
温度センサーは単品販売しています。

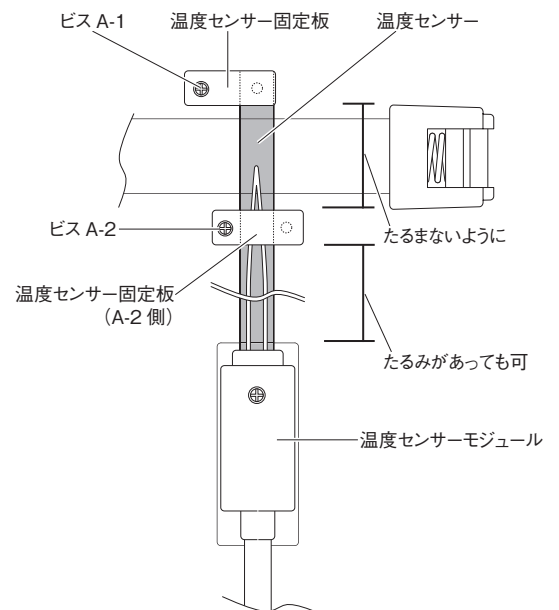
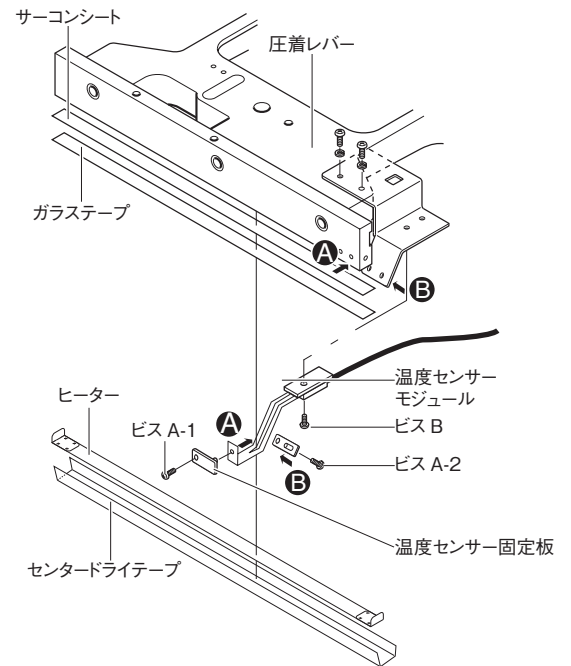
温度センサーは、圧着レバー右端のヒーターとガラステープの間に挟む位置にセットしてあります。

- 1 センタードライテープを取り外してください。「10-3 センタードライテープの交換」(→ P.26)を参照してください。
  - 2 ヒーターを取り外します。「10-5 ヒーターの交換」(→ P.28)を参照してください。
  - 3 ビスA-1、ビスA-2、ビスBを外し、温度センサー固定板を外して温度センサーを取り外してください。
  - 4 ビスA-1側；温度センサー固定板を温度センサー先端部の穴に温度センサー固定板の突起部分をはめ込み圧着レバーに固定する。
  - 5 ビスA-2側；温度センサー固定板で温度センサーを挟み込み仮固定する。
  - 6 A-1側；温度センサー固定板とA-2側；温度センサー固定板の間は、たるまないように温度センサーモジュール側にセンサーを軽くひっぱりながらA-2側；温度センサー固定板をしっかりと固定してください。
- 7 温度センサーモジュールを固定してください。
- 8 2で外したヒーターを取り付けてください。「10-5 ヒーターの交換」(→ P.28)を参照してください。
- 9 1で外したセンタードライテープを取り付けてください。「10-3 センタードライテープの交換」(→ P.26)を参照してください。

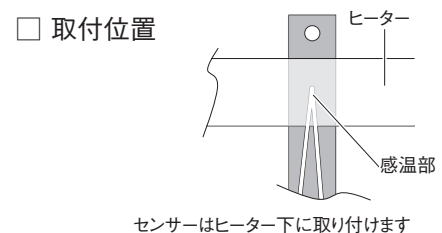
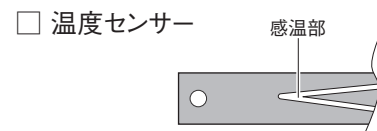
**注！** ビスA-1からビスA-2の間は温度センサーがたるまないようにしてください。

**注意** 温度センサーをひっぱる時、温度センサーモジュールを持って強くひっぱりすぎるとセンサーが切れてしまうことがあります。

**注！** 温度センサーの取付位置を誤りますと、シールができない場合があります。右イラストで確認してください。



### 温度センサーの取付位置



## 10-5 ヒーターの交換

ヒーターを取り付けている電極は、右イラストのような部品構成になっています。

【必要物】 プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターが切れた、凸凹が発生したシールが汚い等

ヒーターは単品販売、補修部品セットで販売しています。

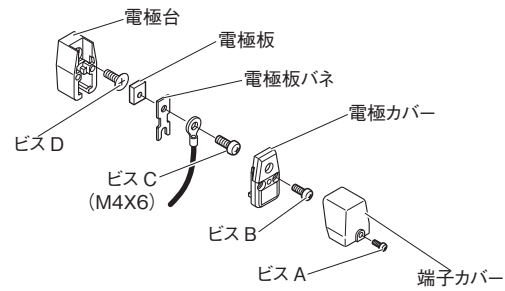
**警告** もし誤って、ビスCを紛失した場合、ビスC (M4x6) より長いビスを代用しないでください。ビスC より長いビスを使用すると電極台を固定しているビスDと接触し、ショートする危険性があります。

**注意** ヒーター交換時はセンタードライテープ、ガラステープ、サーコンシートの破損状況もかならず確認し、傷んでいるようであれば同時に交換してください。ガラステープ、サーコンシートが傷んだ状態でヒーターと本体フレームが直接接触するとショートする危険性があります。

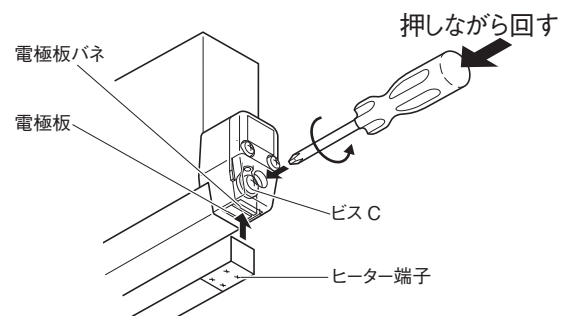
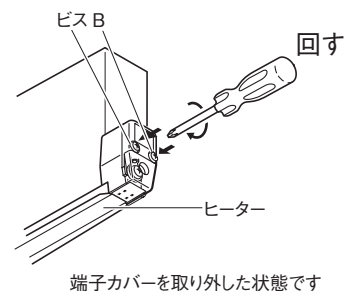
- 1 左右双方電極のビスAをプラスドライバーで緩め、端子カバーを外します。
- 2 センタードライテープを外します。「10-3 センタードライテープの交換」(→ P.26)を参照してください。
- 3 左右双方電極のビスBを緩めヒーターが左右に張られていない状態にします。電極カバーを外す必要はありません。

**注!** ビスBを緩めないで、ヒーターが左右に張られた状態になるのでヒーターを取り外すことができません。

- 4 左右双方電極の電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビスCを緩めるとヒーターを取り外すことができます。
- 5 取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようヒーター端子を指で押さえながらビスCをプラスドライバーで締め付けます。
- 6 3で緩めたビスBを確実に締めヒーターが左右に張られた状態にします。(ビスBの締め付けが緩いとヒーターが左右に張られていない状態のためヒーター損傷の原因になります)
- 7 新しいセンタードライテープをヒーターの上面に貼り付けます。「10-3 センタードライテープの交換」(→ P.26)を参照してください。



**MEMO** ビスや電極カバーを紛失しない様に電極カバーを外さないでヒーターを交換できる構造になっています。



## 10-6 ガラステープ 38mm 幅、サーコンシートの交換

【必要物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる シールが汚い等

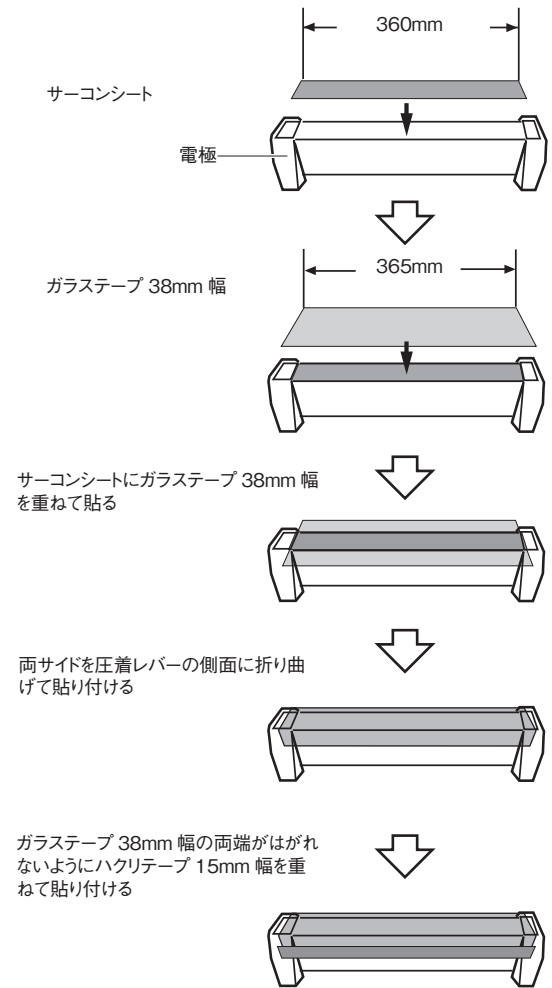
ガラステープ 38mm 幅、サーコンシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 「10-3 センタードライテープの交換」(→ P.26)、「10-5 ヒーターの交換」(→ P.28)、「10-4 温度センサーの交換」(→ P.27)を参照して、センタードライテープ、ヒーター、温度センサーを取り除いてください。温度センサーは取り外してしまう必要はなく先端の止めビスを取りシール部にガラステープ、サーコンシートが貼れるような状態にしてください。
- 2 ヒーター下側のガラステープ 38mm 幅とサーコンシートをきれいにはがしてください。

**注!** 粘着のりが残っている上にサーコンシート、ガラステープを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。  
また、温度センサーは取付位置からずれないように取り付けてください。

- 3 新しいサーコンシートを長さ 360mm にカットして圧着レバーに貼り付けます。(1枚)
- 4 ガラステープ 38mm 幅 (長さ = 365mm) をサーコンシートの上に重ねて貼り付けます。(1枚)
- 5 圧着レバーの幅からはみ出るガラステープ 38mm 幅を両サイドを圧着レバーの側面に折り曲げて貼り付けてください。
- 6 折り曲げたガラステープ 38mm 幅の両端がはがれないようにハクリテープ 15mm 幅を重ねて貼り付けてください。
- 7 1 で外したヒーター、温度センサーを取り付け、センタードライテープを貼り付けてください。

**注!** ガラステープ交換の際に、サーコンシートのシール受け板への貼り付け粘着力が低下してしまえばガラステープとともにサーコンシートも交換してください。



## 10-7 シリコンゴム (白) の交換

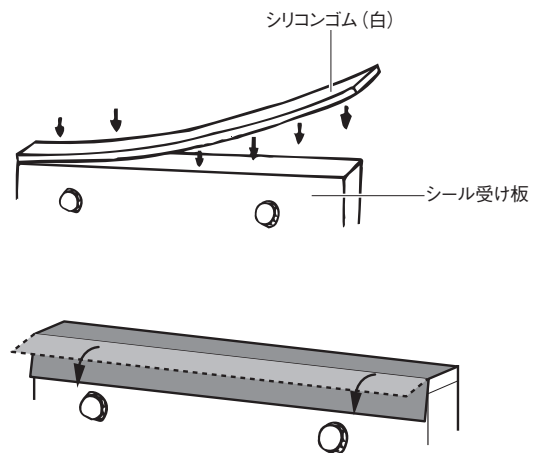
【必要物】 アルコール (エタノール)

【交換の目安】 シールが汚い等

シリコンゴムは単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 シリコンゴムに貼っているガラステープ 38mm 幅をはがします。
- 2 圧着レバーの金属部に残った粘着のりをアルコール (エタノール) などで拭き取ります。
- 3 剥離紙を取り、新しいシリコンゴムを端から順に丁寧に貼ってください。
- 4 シリコンゴムの上にガラステープ 38mm 幅を貼ってください。シール受け板からはみ出る分は、シール受け板の側面へ折り曲げて貼り付けてください。

**注!** シリコンゴムの粘着テープは貼り直しができませんので丁寧に貼ってください。



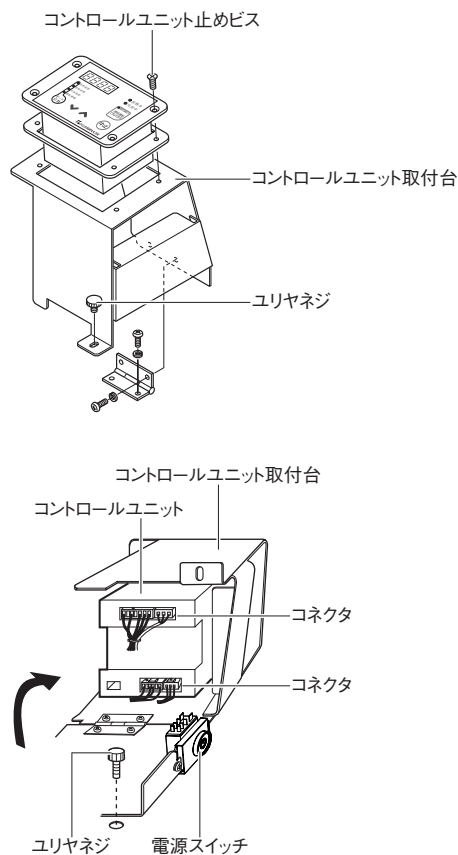
## 10-8 コントロールユニットの交換

【必要物】 プラスドライバー

【交換の目安】 「13 主な故障状況と対処方法」 (→ P.34) で該当する故障原因等

- 1 本体カバーを止めているビスを緩めて本体カバーを外します。
- 2 コントロールユニット取付台を固定しているユリヤネジを外し、コントロールユニット取付台を奥側へ寝かせてコントロールユニット裏のコネクター、ファストン端子などを取り外します。
- 3 コントロールユニットを固定しているビスを緩めてコントロールユニット取付台から外すとコントロールユニットを取り出せます。
- 4 取り付けの時は、「12 シーラーの配線図」 (→ P.33) をよく確認していただき、お間違いなく接続してください。

**警告** 接続を間違えるとコントロールユニットなどを破損する危険性がありますので十分に交換注意をして作業を行ってください。



## 10-9 マイクロスイッチの交換

【必要物】 プラスドライバー

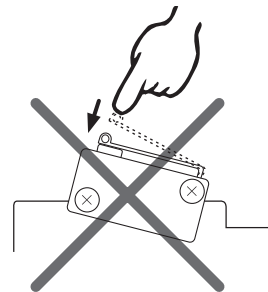
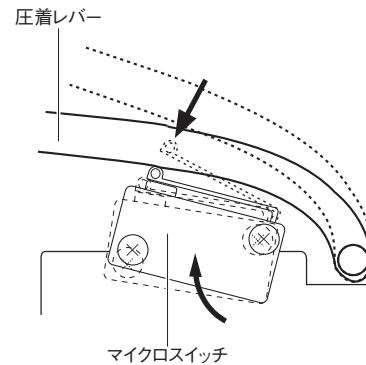
【交換の目安】 「13 主な故障状況と対処方法」  
(→ P.34)で該当する故障原因等

**警告** マイクロスイッチの交換は必ず電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。

- 1 本体カバーを止めているビスを緩め本体カバーを外します。
- 2 コントロールユニット取付台を固定しているユリヤネジを緩めコントロールユニット取付台を寝かせた状態にするとマイクロスイッチが見えるようになります。「10-8 コントロールユニットの交換」(→ P.30)を参照してください。
- 3 マイクロスイッチを止めているビスを緩めて配線を止めている端子を抜きます。
- 4 取り付けの際は圧着レバーを手前に下ろし、手で圧着レバーを押さえた時にマイクロスイッチの入音(カチッと鳴ります)がする位置で固定してください。

**警告** 「12 シーラーの配線図」(→ P.33)を参照して、端子の接続を間違えないようにしてください。間違った接続をするとコントロールユニットを破損する危険性があります。

**警告** マイクロスイッチのレバーを指などで押し、ON状態にすると大変危険です。接続を間違えるとコントロールユニットなどを破損する危険性があります。





## 20 プリンターの部品交換方法

**警告** プリントテープを交換するときは、活字および活字カセットケースが十分に冷えてから作業を行ってください。熱い時に作業を行うと火傷をする危険性があります。

### 20-1 プリントテープの交換

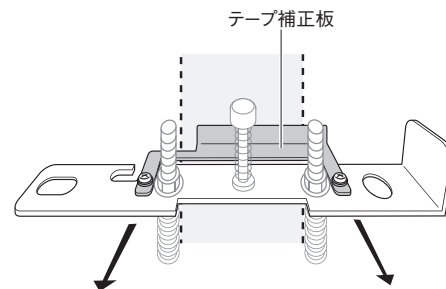
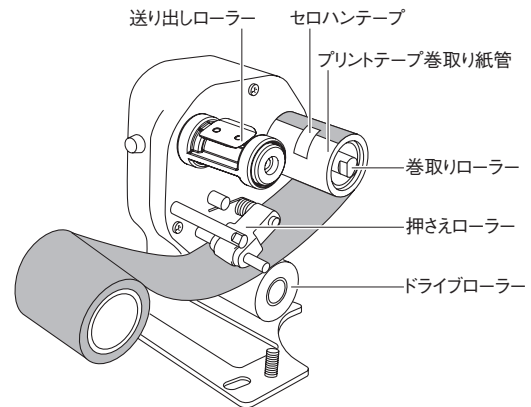
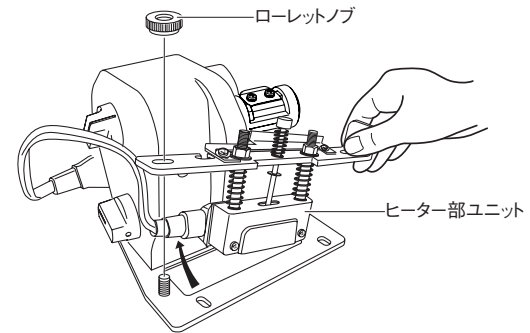
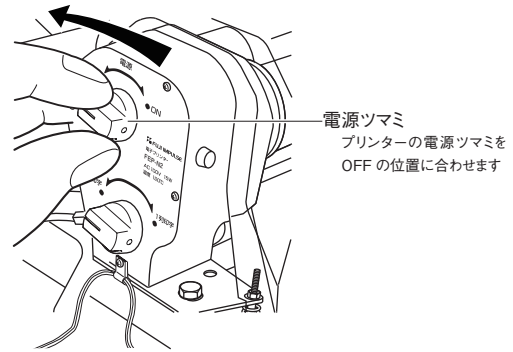
- 1 電源ツマミを左に回して OFF 状態にすると押さえローラーとドライブローラーの間に隙間ができます。
- 2 プリントテープカバーを取りローレットノブを緩め、プリントテープをたるませてからヒーター部ユニットを取り出します。
- 3 プリントテープ巻取り紙管に巻取った古いプリントテープはプリントテープ巻取り紙管ごと取り外し、送り出しローラーにあるプリントテープ巻取り紙管は新しいプリントテープ巻取り紙管としてお使いください。

**MEMO** 工場出荷時にはプリントテープ巻取り紙管は巻取りローラーに装着しています。

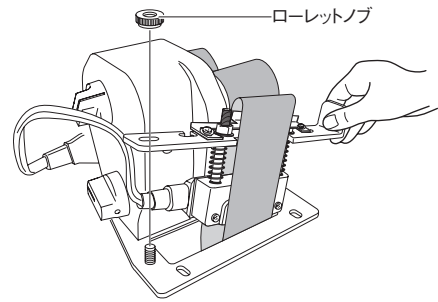
- 4 プリントテープの光沢のある面が上になるよう（押さえローラー側になるよう）、押さえローラーとドライブローラーの隙間にまっすぐに通し、プリントテープの先端をセロハンテープでプリントテープ巻取り紙管に貼り付けます。

**注意** プリントテープ巻取り紙管を取り扱う場合は、スベリドメプレートに気をつけて作業を行ってください。スベリドメプレートの端でケガをする危険性があります。

- 5 テープ補正板を一番手前にした状態にしてください。



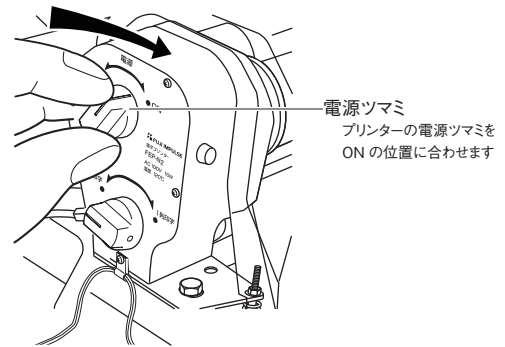
- 6 プリントテープをたるませ、プリントテープの間にヒーター部ユニットを通してローレットノブで固定しセットします。



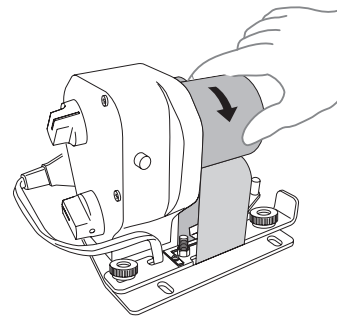
- 7 プリントテープは、少したるませたままで送り出しローラーにセットします。

- 8 電源ツマミを右に回すと電源が ON 状態になり、プリントテープが押さえローラーとドライブローラーに挟まれ固定されます。

**警告** 電源を ON 状態にしてから、時間が経過するとヒーター部ユニットが熱くなり火傷の危険性がありますので充分注意してください。



- 9 手でプリントテープを回してプリントテープのたるみを取ってください。

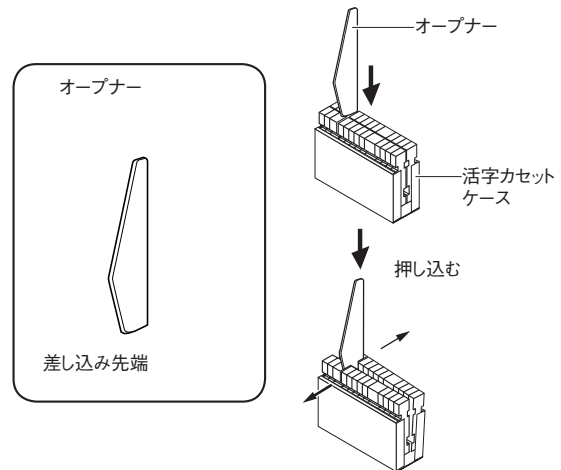
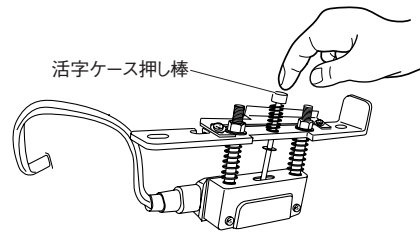


## 20-2 活字の交換

【必 要 物】 附属品のピンセット、オープナー  
活字は単品販売、セット販売しています。

**警告** ヒーター部及び活字は高温になっていますので、活字交換の際は十分に注意して作業を行ってください。  
活字交換は十分に活字カセットケース内の活字が冷えてから行ってください。

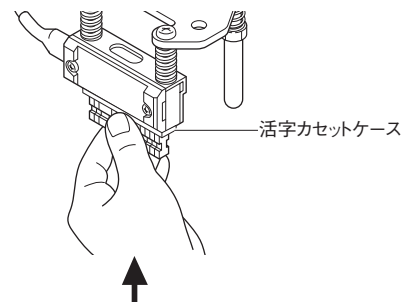
- 1 プリントテープカバーを取り、プリントテープを取り除きます。
- 2 活字ケース押し棒を指で押して、活字カセットケースを押し出します。
- 3 附属の活字交換用オープナーの端を右イラストのように活字カセットケースの活字と活字の間に差し込みます。オープナーの幅の広いほうを使用してください。活字カセットケースが広げられて活字が取り出せるようになります。



- 4 活字をセットするときは、オープナーで活字カセットケースを広げながら差し込みます。活字の溝が活字カセットケース先端のL型に曲がった部分にはまるようにセットしてください。



- 5 活字カセットケースを取り付けるときは、活字カセットケースをヒーター部ユニットに押し込んでセットした後、「20-1 プリントテープの交換」(→ P.40)を参照して、プリントテープをセットしてください。



**注!** 少ない活字をセットする場合は出来るだけ中心寄りにセットしてください。  
活字が左右どちらかにかたよると印字不良の原因になります。